

人間の安全保障 (Human Security): 概要

1 人間の安全保障とは

人間一人ひとりに着目し、生存・生活・尊厳に対する広範かつ深刻な脅威から人々を守り、人々の豊かな可能性を実現するため、個人の保護と能力強化を通じて、豊かで持続可能な社会づくりを促す考え方。

2 日本の取組

- ・ **1999年** 日本主導により、**国連人間の安全保障基金**を設置。同基金は96の国・地域で248件を支援(2018年末時点)しており、日本は累計約468億円を支援(2019年末時点)。複数の国連機関が共同で1件あたり3~5億円程度の包括的なプロジェクトを実施(基金からの拠出は約半分で、残り半分は実施機関・他ドナー政府等が拠出)。
- ・ **2003年** 我が国が主導して2001年に設置した人間の安全保障委員会(緒方貞子国連難民高等弁務官(当時)・アマルティア・セン ケンブリッジ大学トリニティカレッジ学長(当時)が共同議長)が、報告書「安全保障の今日的課題」をアナン国連事務総長(当時)に提出。
- ・ **2010年及び2012年** 人間の安全保障に関する国連総会決議を主導し、双方ともコンセンサスで採択。特に2012年の決議により、人間の安全保障は、加盟国が人々の**生存・生計・尊厳に対する広範かつ分野横断的な課題を特定し対処することを補助するアプローチ**であることに合意し、以下の**人間の安全保障の共通理解に合意**。

【2012年国連総会決議(A/RES/66/290)における加盟国の共通理解】

- ・人々が自由と尊厳の内に生存し、貧困と絶望から免れて生きる権利。すべての人々、特に脆弱な人々は、すべての権利を享受し彼らが持つ人間としての可能性を開花させる機会を平等に有し、**恐怖からの自由と欠乏からの自由**を享受する権利を有する。
- ・人間の安全保障は、**すべての人々とコミュニティの保護と能力強化に資する、人間中心の、包括的で、文脈に応じた、予防的対応を求めるもの。**

3 最近の人間の安全保障の動き

- ・ **2015年9月** 国連総会で、「人間中心」「誰一人取り残さない」社会の実現等の人間の安全保障の理念を盛り込んだ「持続可能な開発目標(SDGs)」を採択。
- ・ **2019年2月** NYで日本とUNDP等との共催により「人間の安全保障シンポジウム」を開催。SDGsの時代において人間の安全保障がますます重要となっていることを確認。

今後、**国連人間の安全保障基金等のツールを一層活用しつつ、SDGsの実施に貢献する観点からも人間の安全保障の実現に向けた取組を強化し、国際開発協力における日本のプレゼンスを高めていく。**